

3-3 「コミュニティが息づく魅力あるまち」

コミュニティの活性化と住環境の改善により、魅力ある住みよいまちを実現する

密集住宅市街地は、老朽木造住宅が密集していることや都市基盤が脆弱なために災害に対する安全性が低いことなど様々な課題を抱えているが、多くの市民が古くからのコミュニティを維持しながら暮らす大阪を代表する典型的な居住地である。また、神社や石畳等の景観資源も数多く存在している。しかし、近年、人口の減少や高齢化の進行によりコミュニティが停滞する傾向が見られ、貴重な地域の力が失われつつある。このため、密集住宅市街地のまちづくりを通して地域のコミュニティを再生し、「コミュニティが息づく魅力あるまち」の実現を目指す。

また、「コミュニティが息づく魅力あるまち」の実現を図るため、住民自らが互いに支えあい地域を守るコミュニティや良好な住環境を形成することにより、高齢者が安心して暮らせる優しいまち、子育て環境の整った若者が住みたくなるまちを目指す。

さらに、防災まちづくりとリンクした住みよいまちの実現や地域特性を活かしたまちの魅力の創造を図る。

まちの目標像

住民自らが互いに支えあい
地域を守るコミュニティの形成

高齢者に優しく
若者が住みたくなるまちの実現

防災まちづくりとリンクした
住みよいまちの実現

地域特性を活かした
まちの魅力の創造